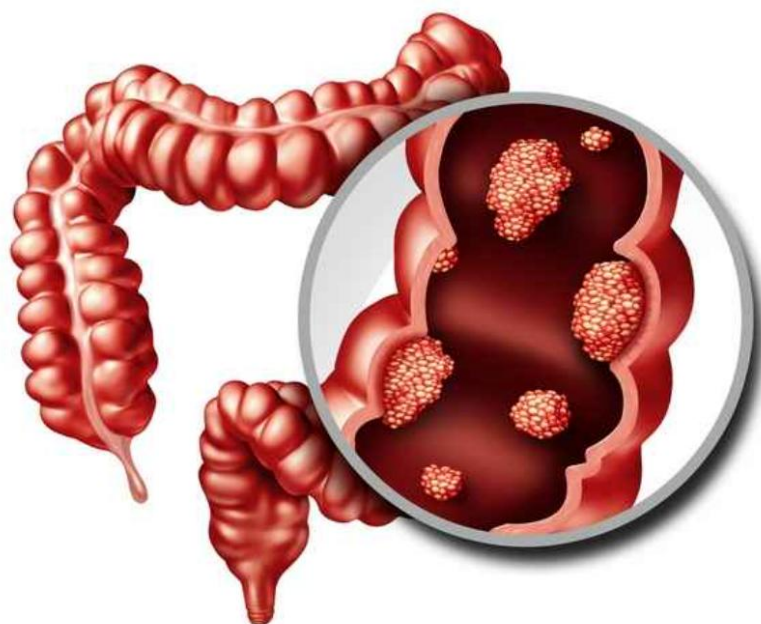


便潜血検査と大腸内視鏡検査

便潜血検査（FOBT）と大腸内視鏡検査の間で大腸癌の陽性率に差がないことが New England Journal of Medicine 誌に報告されていますが、前癌病変（腺腫などのポリープ）の発見率は大腸内視鏡検査の方がFOBTよりも高いので、大腸がんが心配な方は大腸内視鏡を受けることをおすすめします。



また、FOBT 陽性の方は陰性の方に比べて、大腸がん死亡率が 7.79 倍と Gut 誌に報告されているため、大腸内視鏡検査で異常を認めなかった場合は、翌年も健診などで FOBT 検査を受けることをおすすめします。さらに、FOBT 陽性の方は陰性の方に比べて、循環器、呼吸器、代謝系疾患による死亡率も 1.58 倍と高くなっていましたので、採血など含めた内科的検査も受けることをお勧めします。

